

住みたい家を上手に建てる **わが家** SEIBIDO MOOK

Wagaya

No.7

吹抜
家抜
けに
けの
住の
みあ
た
る
たい

3倍広がる
開放感!

わが家だから大胆にこだわった
設計家の自邸を
お手本にしよう

共有スペースの作り方が分かれ目
2世帯住宅
成功のポイント

5つのキーワードでわかる
予算オーバーは
こうして防ぐ

綴り込み付録
体で感じる
健康住宅



◀リビングから見たブレイルーム。内と外の階段によって、リビングや庭、ブレイルームと空間がひとつにつながり、デッキだけでなく、自分の好きな場所で自由につろげる



▼庭の緑が眺められるように、庭に面したフェンスには透明な強化ガラスを利用。デッキの奥には、直接庭と行き来できるように外階段が設けられている



▲南北にのびた長方形の敷地を生かした相田さんのお宅。1階の南側に位置する居室部分の上階を大胆にもすべてデッキに利用し、16畳という広さを確保している

▼家族が集まるリビングダイニングは石油温水式床暖房を設置した快適なスペース。デッキの板材もリビングの床と同じ方向に組んでいるので、空間に一体感が感じられる



▲約16畳の広さがあるウッドデッキの床材にはヒノキを使用。虫を寄せつけない効用があるうえ、家族団らんの時独特の香りが漂って、森林浴気分が味わえる

通りに面した側では、外壁と一体化させたフェンスを高めに設置。人目を気にせずにデッキでバーベキューを楽しんだり、安心して犬と遊んだりすることができます。相田さん一家にとって、このデッキはまさに第2のリビングとなっているのです。

潮風や潮騒が感じられるように、デッキを2階のリビングダイニングと連続させたのもポイント。リビングとの境は壁一面の窓にして、一体感をより高めています。また、開放的に仕上げするために、デッキの庭側のフェンスには透明な強化ガラスを採用。デッキから庭に降りられるように外階段も装備しました。家の外と内、1階と2階をつなげて、住まい全体の動線をスムーズにしています。デッキの床材にヒノキを使用している点も大きな特徴。ヒノキ特有の芳香が、リラクゼーション効果をさらに深めてくれます。

会社を経営する相田さんは、自宅を新築するにあたり、以前、店舗を建てる時にお世話になった、設計家の渡辺治さんに迷わず依頼しました。渡辺さんの大胆なアイデアと独創的な設計をベースに、大きなデッキが個性的な外観を造り出した住まいになっています。ウッドデッキのスペースは約16畳。海に向かってのびる道路沿いの長方形の敷地を最大限に生かして、海に面した南側に配置しています。

OUT DOOR LIVING

2階のリビングに続くデッキで
潮風を受けながら団らんの時を
神奈川県 / 相田邦彦さん